



ゆかり通信

VOL. 279

令和3年4月

SENSHOJI 2021 YUKARI NEWSLETTER

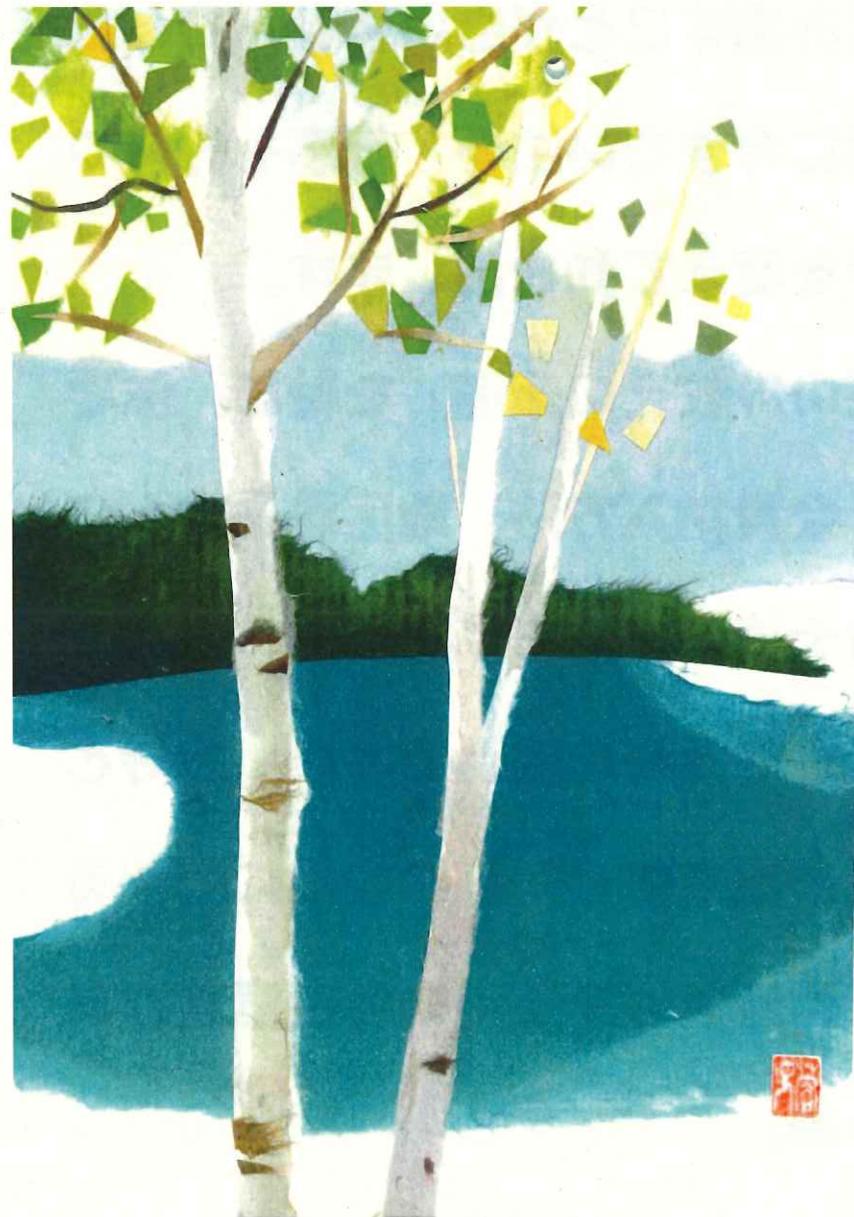
since 1994

北海道千歳市清水町1-14 鶴竈山 千正寺

TEL:0123-23-2442 FAX:0123-24-9883

ホームページ <http://sensho-ji.net/> フェイスブック @Senshoji

2021年千正寺カレンダー 4月の言葉



晴れた日は枝が伸びる。
雨の日は根が伸びる。

(福島正伸氏)

白樺

「晴れた日には、枝が伸び、 雨の日には、根が伸びる」

これは、実業家の福島正伸さんの言葉です。

「晴れ日もあれば、雨の日もある」晴ればかり続いても、雨ばかり続いても、農作物は実りませんよね。「雨」自体は、もともと善でもなければ悪でもないんです。そんなことは分かってはいるんですが、私たちはついつい、「こんな時に雨に振られた」と不機嫌になったり、「恵みの雨だ!」と喜んだり、自分の都合で、雨に良し悪しを付けて生きています。

「雨」からしたら「何て勝手な奴だろう」と呆れてるんじゃないでしょうかね。お釈迦様のお言葉に「一切皆苦」とあります。

「一切のことは、皆、苦しみだ」と聞くと「何て悲観的な考え方だろう」と思われるかもしれませんが、そうではありません。

「思い通りにならないことを、思い通りにしようとするから、一切のことが、苦しみになってしまうんですよ」とおっしゃっているのです。

思い通りにならないことを、思い通りに出来ると勘違いをしたり、思い通りにならないからといって、イライラして周りに当たり散らしたりしたら、それこそ余計に、悪い結果を呼び込んでしまうかもしれませんね。

ボブ・マーリーという音楽家は、こう言いました。

「雨を感じられる人間もいるし、ただ濡れるだけの奴もいる」

「雨に降られた」と嘆くよりも、どうせ濡れるんだったら、雨を感じて、雨を楽しんでみてはどうでしょうか?

自分にとって都合の悪い結果が出てしまった時、ちょっと痩せ我慢をして、「これは今の自分にとって、きっと良い事なんだ」と考えてみては如何でしょうか。しかし、雨なら濡れるだけで済みますが、「大学受験で失敗した」となると、そう簡単には、踏ん切りは付かないかも知れません。

でも、「これはきっと仏様が、僕に何か大切な事を気付かせるためにお与え下さったことなんだ」と考えてみてはどうでしょうか?

「もっと勉強してから、合格した方が、君のためだよ」とか、「不合格って辛いね、これで人の痛みが分かる人になれるね」とか…。

いくら努力しても「必ず思い通りの結果が出る」とは限りません。また、思い通りの結果が出たからといって「それが必ず自分のためになる」とも限りません。どんな結果が出て、「それが今の僕にとって、一番良い結果なんだ」と受け入れる。どんな結果になっても、仏様がいつもご一緒下さっているんだと受け入れると、「晴れの日には、枝を伸ばして、新しいことにチャレンジしよう」「雨の日には、心の根っこを伸ばして、反省し優しいひとになろう」どんな結果が出て、「仏様と共に歩む人生に、ムダなんてない」。そう考えると、きっと心豊かに日々を過ごせるんじゃないでしょうかね。最近、僕のパソコンが突然壊れまして、大切な情報が全～部消えてしまいました(汗)。

「仏様は今僕に、何を伸ばせと仰っているんだろう?」とぼんやり考えているところです。

(文:桜庭尚吾法務員)